様式第１号

# 事務事業評価表（一般事業）

| 評価対象年度 | 平成 28 年度 |
|---|---|
| １次評価日（主幹等） | 29 年 3 月 31 日 |
| ２次評価日（課長等） | 29 年 5 月 31 日 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| １ 事業名 | 健康づくり推進事業 | | | コード | 41301 |
| ２ 担当部課 | 部等 | 健康福祉部 | 課等 | 健康推進課 | 作成者 百瀬ひろみ |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ３ 事業概要 | 目的体系 | 基本目標 | ともに支えあい、健やかに暮らせるまち | |
| | | 政　策 | 保健・医療の充実 | 施　策 健康づくりの推進 |
| | 予算科目 | | 健康づくり推進事業費 | 業務委託 なし（直営） |
| | 実施義務 | | あり（義務的・標準的事業） | 国県補助 あり |
| | 根拠法令 | | 健康増進法 | |

## ●事業の内容（DO）

### ４ 事業の概要等

＊対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）

| | | |
|---|---|---|
| 事業の概要（簡潔に） | | 生活習慣病予防をはじめ、健康に関する正しい知識や情報を提供するため、健康づくり講演会や運動講習会、イベントや各種教室、健康相談等を実施し、健康の保持増進のための啓発を行った。 |
| 目的 | 対象者 | 市民 |
| | 意　図 | 健康の保持・増進　　健康寿命の延伸 |

### ５ 事業の実施内容

＊28年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容

１．血管を守ろう！プロジェクト事業
　１）健康診断の受診率向上のための取組み
　　①母子保健事業での保護者に対する啓発実施（1歳6か月児健診・2歳にこにこ教室での受診勧奨）
　　②地区組織活動（保健委員会・食生活改善推進員会）、健康づくり講演会等での周知・啓発の実施。
　２）講演会・講座の開催
　　①血管を守る健康講座
　　・6月19日（日）「脈のチェックで、早期発見！～心原性脳塞栓症の発症予防と治療～」
　　（信州大学医学附属病院　准教授　脳血管内治療センター　小山　淳一氏）：参加者　　180人
　　・7月9日（土）「効果的なウォーキング及び簡単筋トレ実践法」
　　（松本大学大学院教授　根本　賢一氏）：参加者　　170人
　　・8月26日（日）「食べ方が変わるとからだも変わる！血管を守る食生活」
　　（女子栄養大学　蒲池　桂子氏）：　参加者　180人
　　②血管を守る学習会（地区保健委員会で開催）
　　・血管を若返らせる運動塾：21地区で実施　延356人参加　（やまびこスケートの森スタッフ）
　　・血管を若返らせる食生活：21地区で実施　延328人参加　（健康推進課　栄養士）
　３）ハイリスク者への個別対応の強化
　　①特定健康診査後の結果説明会の実施：実施者206人
　　②訪問等個別対応の実施：訪問実施者実人数　103人・　面接実施者20人
２．イベント・各種講座等
　１）岡谷市民健康づくりのつどい：12月4日（日）・400人参加
　２）こころのサポーター養成講座：12月19日（木）・150人参加（岡谷市民病院　院長　天野　直二氏）
　３）講演会「知っておきたい乳がんの知識～自分の身体を守るために～」：2月27日（月）・100人参加
　　（こやま乳腺・甲状腺クリニック　院長　小山　洋氏）
　４）その他の健康教育
　　①出前講座等健康教育：　2回　・　延　67人参加
３．健康相談
　　・面接相談　　143件　　・ダイヤル健康相談　352件

| | |
|---|---|
| 前年度の課題への対応 | 講演会周知では、健診の個別通知に講演会のチラシを同封したり、講演会の際に参加者に健診受診を呼びかける等、1回のイベントが個人の健康づくりのきっかけとなるよう、健康に関する様々な情報の提供に努めた。 |

### ６ 指標の達成状況

＊活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度

| 区　分 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度（予算） |
|---|---|---|---|---|
| ① 活動指標（指標名） | 開催回数 | | | 単位 |
| 実績値 | 996 | 900 | 874 | |
| ＊指標の説明 | 各事業の開催回数の合計 | | | |
| ② 成果指標（指標名） | 参加者数 | | | 単位 |
| 目標値 | 3,748 | 3,887 | 3,930 | 3,639 |
| 実績値 | 4,092 | 4,070 | 2,755 | |
| 達成度 | 109.2% | 104.7% | 70.1% | |
| ＊指標の説明 | 各事業の参加者数の合計 | | | |
| ＊目標値の設定方法の説明 | 過去3年間の参加者数の平均 | | | |

## 7 ア）コストの推移

＊この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）　［単位：円］

| 補助金負担金名 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度（予算） |
|---|---|---|---|---|
| ① 直接事業費 | 2,627,527 | 3,184,240 | 2,279,741 | 1,125,000 |
| 経常経費 | 2,594,116 | 2,564,469 | 1,912,220 | 324,329 |
| 臨時的経費 | 33,411 | 619,771 | 367,521 | 800,671 |
| ＊臨時的経費の説明 | 健康づくり講演会等講師謝礼 | | | |

| 補助金負担金名 | | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度（予算） |
|---|---|---|---|---|---|
| ② 人件費 | | 12,480,000 | 12,480,000 | 12,480,000 | 12,480,000 |
| 正規職員の人数（人） | | 1.56 | 1.56 | 1.56 | 1.56 |
| ③ 合計コスト（①＋②） | | 15,107,527 | 15,664,240 | 14,759,741 | 13,605,000 |
| 前年度比 | | | 103.7% | 94.2% | 92.2% |
| 財源内訳 | 一般財源 | 14,053,492 | 15,251,060 | 14,514,727 | 13,304,000 |
| | 特定財源 | 1,054,035 | 413,180 | 245,014 | 301,000 |
| ＊特定財源の説明 | | 健康増進事業費県補助金 | | | |
| ④ 活動一単位あたりコスト | | 15,135 | 16,716 | 16,467 | |
| 前年度比 | | | 110.4% | 98.5% | |
| ⑤ コストに関する補足説明 | | | | | |

### イ）補助金負担金の状況

［単位：件、円、%］

| 補助金負担金名 | | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度（予算） |
|---|---|---|---|---|---|
| | 件数 | | | | |
| | 金額 | | | | |
| | 件数 | | | | |
| | 金額 | | | | |
| | 件数 | | | | |
| | 金額 | | | | |
| | 件数 | | | | |
| | 金額 | | | | |
| | 件数 | | | | |
| | 金額 | | | | |
| ア）の①に含まれる負担金等合計金額及び割合 | 合計金額 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 割合 | 0.00% | 0.00% | 0.00% | 0.00% |

＊行が足りない場合は追加してください

## ●事業の評価（CHECK）

## 8 妥当性評価

＊妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。　**妥当性　高い**

| 評価項目 | はい | いいえ |
|---|---|---|
| ① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。 | 1 | |
| ② 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。 | 1 | |
| ③ 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。 | 1 | |
| ④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。 | 1 | |
| ⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。 | 1 | |

## 9 有効性評価

＊有効性＝成果指標（項目7／住民の満足度）は向上しているか。　**有効性　標準**

| 評価項目 | はい | いいえ |
|---|---|---|
| ① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。 | 1 | |
| ② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。 | 1 | |
| ③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。 | 1 | |
| この事業の利用者が増加した。　成果指標の実績値　前年度比　67.7% | | 0 |
| ⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。　成果指標の目標値　達成度　70.1% | | 0 |

## ●改善の内容（ACTION）

### 10 具体的な課題と改善

| | | |
|---|---|---|
| 課題 | （少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること）<br>・地区保健委員会主催のいきいき健康学習では、人集めに苦慮している。<br>・特定健診後のフォローでは、経年受診者への対応が増加傾向にあり、個人の健診結果・受診歴によってフォロー方法の検討が必要。 | |
| 改善方法 | （上記の課題をふまえて29年度以降に実施する、具体的な改善の内容）<br>・ブロック担当保健師が中心となり、地区保健委員会活動への支援を継続する。<br>・特定健診後のフォロー体制の検討を行う。 | |
| | 改善開始時期 | 平成29年4月 |

## ●次年度の計画（PLAN）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 11 次年度の方針 | 継続して実施 | 12 施策評価による29年度の優先度<br>*H27年度施策評価表より転記すること | B |